

DCi-

USERS MANUAL

CATV/xDSL Internet Sharing Box

BRL-01

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

DCi-
USERS MANUAL
CATV/xDSL Internet Sharing Box

BRL-01

このマニュアルの構成

本マニュアルはCATV/xDSL インターネットシェアリングボックス BRL-01(bRoad Lanner)の概要および使用方法について説明します。本マニュアルの構成は以下のようになっています。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

第2章 ハードウェアの接続

本製品ハードウェアのxDSL/ケーブルモデムおよびLANとの接続方法について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第3章 簡単設定

本製品を使ってもっとも簡単にインターネットに接続する方法について説明します。

第4章 アドバンスド設定

本製品のDHCPサーバ機能やローカルサーバ機能等のより詳しい機能の設定の方法について説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

本製品をご使用になる上でよくあるトラブルとその解決方法について説明します。

付録B ファームウェアのアップデート

本製品のファームウェアのアップデート方法について説明します。

付録C デフォルト設定の復帰

本製品を工場出荷時のデフォルト設定に戻す方法について説明します。

付録D デフォルト設定

本製品の工場出荷時のデフォルト設定について説明します。

付録E telnet設定

本製品をtelnetを使用して設定する場合の設定メニューについて説明します。

付録F 製品仕様

本製品の製品仕様です。

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

目次

第1章 はじめに

1.概要	1
2.特長	2
3.梱包内容の確認	2
4.各部の名称	3
5.対応機器	6

第2章 ハードウェアの接続

1.xDSL/ケーブルモデムとの接続 (WAN)	7
2.ネットワークとの接続 (LAN)	8
3.電源の接続	9
4.接続の確認	10
5.本製品のリセット手順	11
6.電源投入時の自己診断テストについて	11

第3章 簡単設定

1.コンピュータの設定	13
2.グローバルIPアドレスの設定	18
3.接続の確認	24

第4章 アドバンスド設定

1.設定画面を開く	25
2.管理者パスワードの設定	27
3.LAN側TCP/IP設定	28
4.WAN側TCP/IP設定	30
5.DHCPサーバ機能の設定	35
6.バーチャルコンピュータ機能	39
7.ローカルサーバ機能	41
8.ルーティングテーブル	43
9.IPフィルタリング	47
10.その他の設定	50
11.トラフィックモニタ	52
12.アクセス状況の表示	53
13.デフォルト設定の読込	54
14.設定の保存	55

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

付録A	トラブルシューティング	57
付録B	ファームウェアのアップデート	59
付録C	デフォルト設定の復帰	61
付録D	デフォルト設定	63
付録E	telnet設定	65
付録F	仕様	67

はじめに

1. 概要

本製品は、xDSLおよびCATV(ケーブルTV)接続を使用したインターネット接続に対応したインターネットシェアリングボックスです。NAT(Network Address Translation:ネットワークアドレス変換)機能により、1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有し同時にインターネットにアクセスすることが可能です。本製品はWEBブラウザまたはtelnetにより、簡単にセットアップすることが可能です。

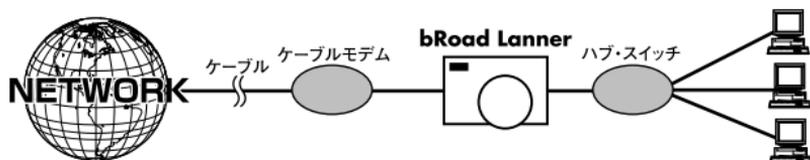


図1-1 bRoad Lanner接続図

▲ 注意

プロバイダによっては複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合もあります。プロバイダとのご契約内容についてご確認ください。

2. 特長

xDSL、CATV接続等の1.5MbpsまでのWAN回線に対応
NAT機能により1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有可能
WAN側10BASE-T、LAN側100BASE-TX/10BASE-T自動認識に対応した2つのRJ-45 STPポートを装備
WAN側ポートはDHCPクライアントに対応
LAN側ポートはDHCPサーバに対応
ローカルサーバ機能およびバーチャルコンピュータ機能により、ローカルネットワーク上のコンピュータにインターネットからアクセス可能
フィルタ機能を装備、IPアドレス、ポート番号によるアクセス制限が可能
WEBブラウザまたはtelnetから設定可能

3. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

bRoad Lanner(BRL-01)本体
ACアダプタ
UTP ストレートケーブル(1m) 1本
ショートケーブル 1本
このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4. 各部の名称

本体上面

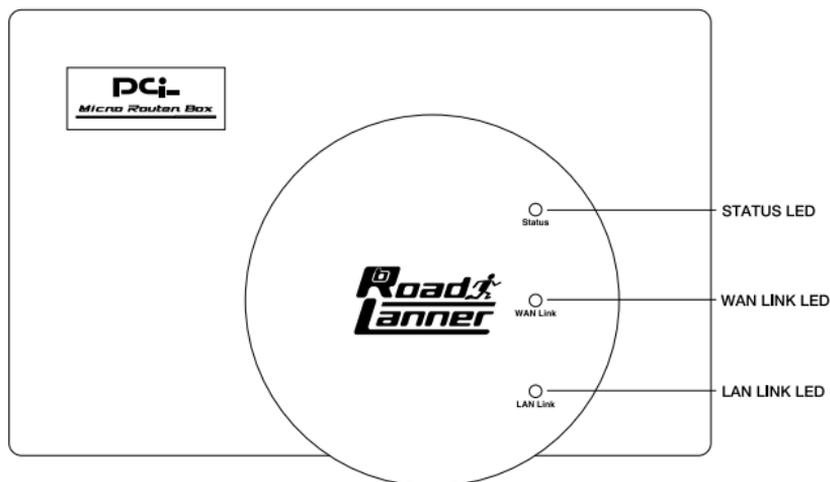


図1-2 本体上面

「STATUS LED」

本製品がデータの送受信中に点滅します。

「WAN LINK LED」

WAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。

「LAN LINK LED」

LAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。

本体背面

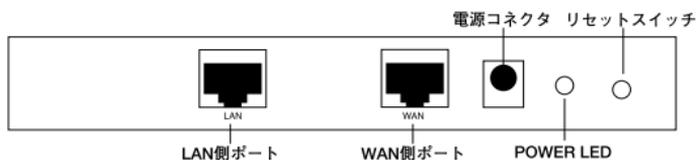


図1-3 本体背面

「LAN側ポート」

本製品をLANと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「WAN側ポート」

本製品をxDSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

「POWER LED」

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合に使用します。

本体裏面

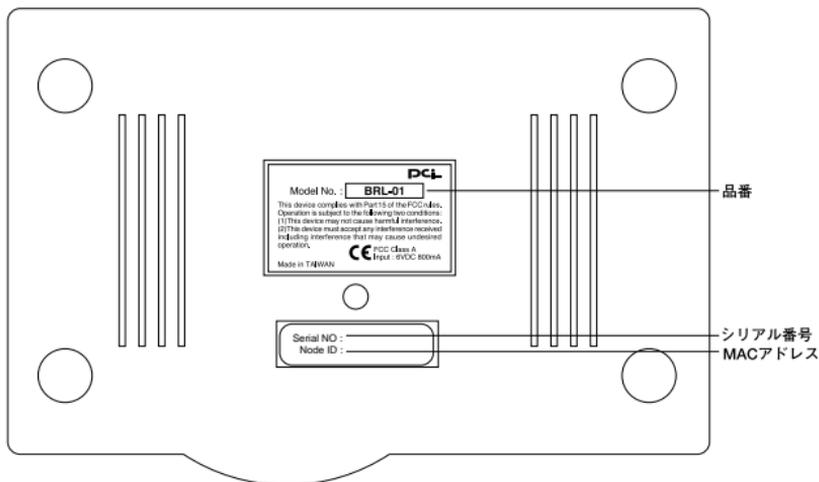


図1-4 本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

「MACアドレス」

本製品のMACアドレス（物理アドレス）です。プロバイダによってはxDSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

5. 対応機器

コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

Windows 95/98/NT/2000を搭載し、Ethernet(RJ-45)ポートを装備したコンピュータ

TCP/IPが利用可能なOS(Mac OS、各種UNIX等)を搭載し、Ethernet(RJ-45)ポートを装備したコンピュータ

ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

UTPまたはSTPツイストペアケーブル

10BASE-T/100BASE-TXリピータハブまたはスイッチングハブ

xDSL/ケーブルモデム

本製品は、以下のいずれかのxDSL/ケーブルモデムに対応しています。

RJ-45(LAN)ポートを装備した外付xDSLモデム

RJ-45(LAN)ポートを装備した外付ケーブルモデム

ハードウェアの接続

本章では、本製品とxDSL/ケーブルモデム、ハブとの接続手順について説明します。

1. xDSL/ケーブルモデムとの接続(WAN)

- 1.xDSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。
- 2.ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルで、本製品背面のWANポートとxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートを接続してください。

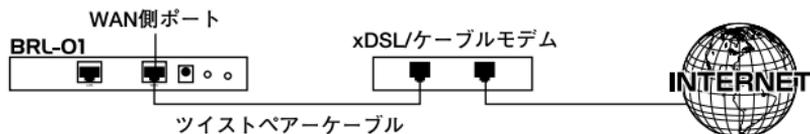


図2-1 xDSL/ケーブルモデムとの接続

注意

xDSL/ケーブルモデムの種類によっては、本製品と接続する際にストレートケーブルでなく、クロスケーブルを必要とするものもあります。詳細については、お手持ちのxDSL/ケーブルモデムのマニュアルを参照してください。

2. ネットワークとの接続(LAN)

1. ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルの一端を本製品のLANポートに接続してください。
2. ツイストペアケーブルのもう一端をハブ(10BASE-T/100BASE-TXリピータハブやスイッチングハブ等)のRJ-45ポートに接続してください。
3. 本製品を経由して、インターネットにアクセスするコンピュータとハブをツイストペアケーブルで接続してください。

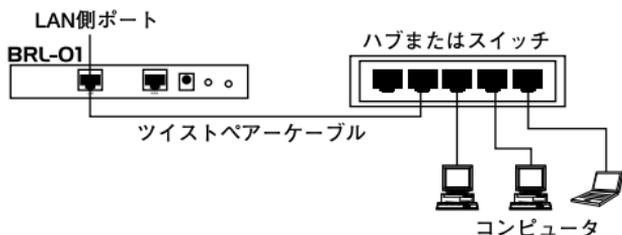


図2-2 ネットワークとの接続

3. 電源の接続

1. 付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続してください。
2. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。コンセントに直接、ACアダプタを接続できない場合は付属のショートケーブルをご使用ください。
3. xDSL/ケーブルモデムの電源を入れてください。
4. ハブの電源を入れてください。



図2-3 電源の接続

⚠ 注意

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

4. 接続の確認

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品背面のPOWER LEDと本製品上面のWAN LINKおよびLAN LINK LEDが点灯します。これらのLEDが点灯しない場合は以下の点についてご確認ください。

< POWER LED >

本製品付属のACアダプタを使用していますか？

ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？

ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

< WAN LINK LED >

ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

xDSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

< LAN LINK LED >

ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびハブのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

ハブの電源は入っていますか？

ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

5. 本製品のリセット手順

本製品背面にはリセットスイッチが装備されています。何らかの理由で本製品のリセットを行いたい場合は、以下の手順でリセットを行ってください。

- 1.本製品に電源が入っていることを確認し、リセットスイッチを約1秒間押してください。
- 2.本製品上面のSTATUS LEDが7回点滅します。
- 3.xDSL/ケーブルモデムをリセットしてください。

6. 電源投入時の自己診断テストについて

本製品は電源投入時、自動的に自己診断テストを実行します。本製品が正常に起動すると、製品上面のSTATUSと書かれたLEDが7回点滅します。このLEDが7回点滅しない場合は、本製品の故障が考えられます。弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

簡単設定

本章では本製品の簡単設定手順について説明します。簡単設定では、必要最小限の設定のみで、本製品を経由したインターネットへのアクセスを行えるようにします。

簡単設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して本製品とxDSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を済ませておいてください。

本製品のより詳細な設定を行う場合は、第4章「アドバンスド設定」を参照してください。

1. コンピュータの設定

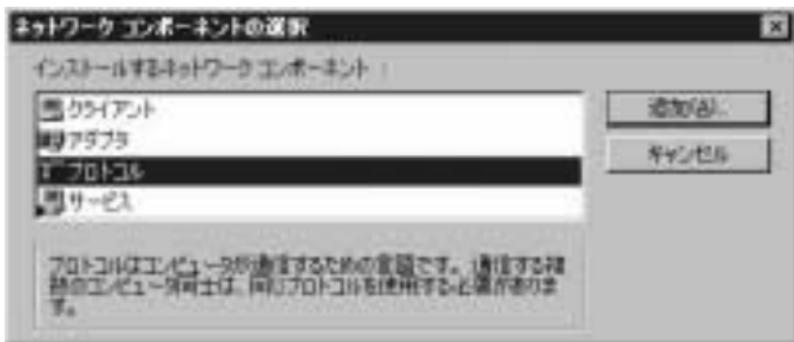
Windows95/98

1. コンピュータにネットワークアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。ネットワークアダプタがインストールされていない場合は、ネットワークアダプタのインストールを行ってください。

2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。



3. インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



4. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。



5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得」オプションを選択し、コンピュータを再起動してください。



Macintosh

- 1.アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。
- 2.TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」に設定してください。



- 3.TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動してください。

2. グローバルIPアドレスの設定

コンピュータの準備ができたなら、本製品にプロバイダから割当てられているグローバルIPアドレスの設定を行います。プロバイダからのIPアドレスの割当てには、固定のIPアドレスが提供される場合と、接続時にDHCPサーバから自動的にIPアドレスが割当てられる場合があります。

▲ 注意

プロバイダとの接続にPPPoE(PPP over Ethernet)を使用する場合は、「4-4 WAN側TCP/IP設定」を参照して、PPPoE接続の設定を行ってください。

DHCPサーバにより自動的にIPアドレスが割当てられる場合は、ここでは何もする必要はありません。「3-3 接続の確認」に進んでください。

固定のIPアドレスが割当てられている場合は、以下の情報を用意してグローバルIPアドレスの設定を行ってください。

- a. プロバイダから割当てられているIPアドレス
- b. プロバイダから割当てられているサブネットマスク
- c. プロバイダから割当てられているゲートウェイIPアドレス
- d. DNS(ドメインネームサーバ)のIPアドレス

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。NetscapeまたはMicrosoft Internet Explorerのバージョン3.0以降のご使用を推奨します。

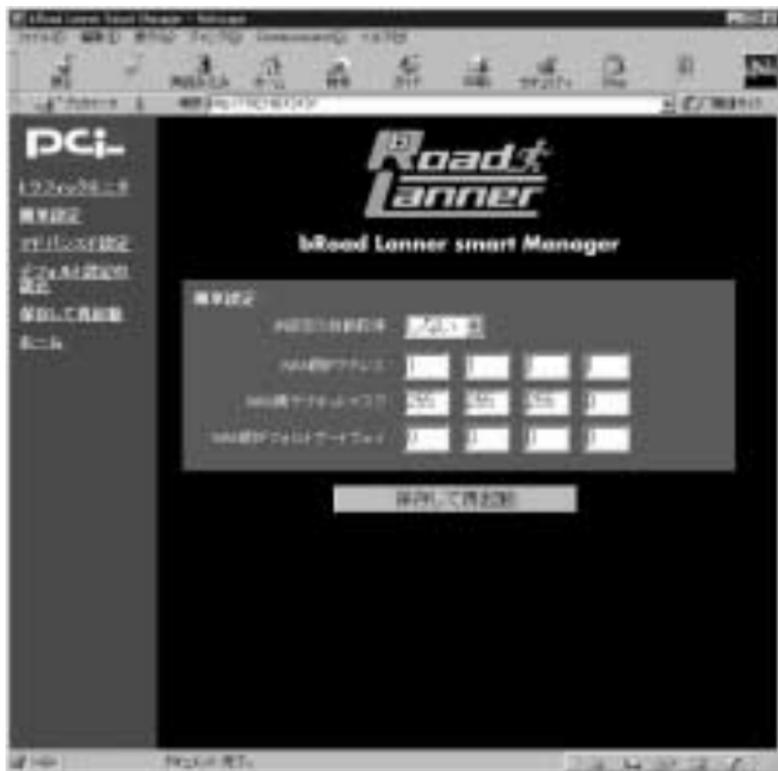
1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。
2. WEBブラウザの「場所」(または「アドレス」)欄に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.10.10」を入力し、Enterキーを押してください。
3. 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。デフォルトの管理ユーザー名「admin」と、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



4.本製品のメイン・セットアップメニューが表示されます。



- 5.画面左にある「簡単設定」をクリックしてください。グローバルIPアドレスの設定画面が表示されます。「IP設定の自動取得」を「しない」に設定し、以下の項目を手動で設定してください。



「WAN側IPアドレス」

プロバイダから割当てられているIPアドレスを入力してください。

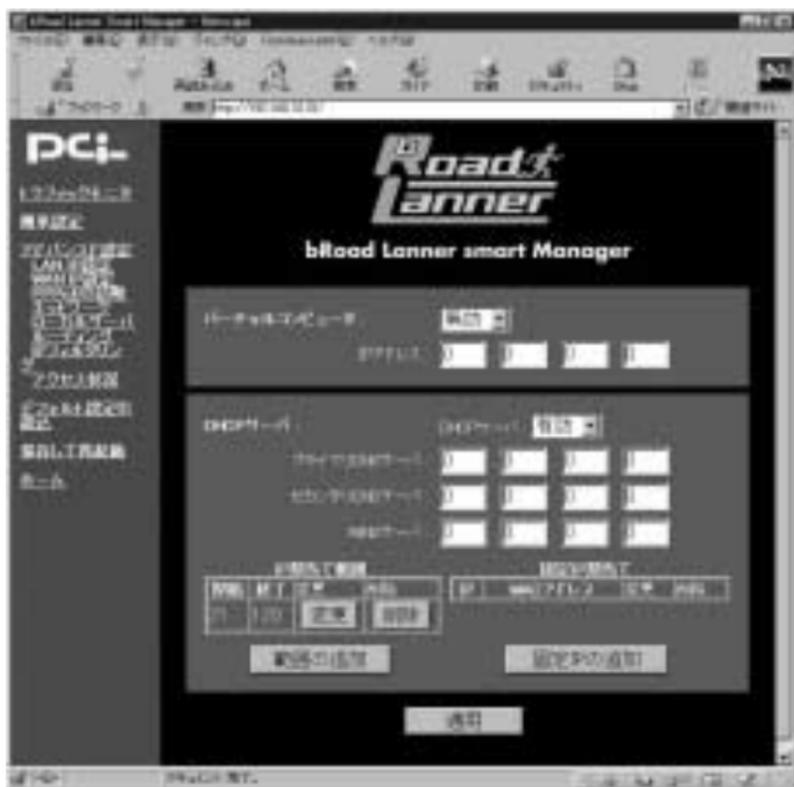
「WAN側サブネットマスク」

プロバイダから割当てられているサブネットマスクを入力してください。

「WAN側デフォルトゲートウェイ」

プロバイダから割当てられているデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力してください。

6. 「保存して再起動」ボタンをクリックしてください。設定が保存され本製品が再起動します。
7. 約10秒ほど待って本製品の再起動が完了したら、画面左側のメニューの「アドバンスド設定」をクリックし、その下の「ネットワーク」をクリックしてください。「プライマリDNSサーバ」にプロバイダから割当てられた、DNSサーバのIPアドレスを入力してください。セカンダリDNSサーバも割当てられている場合は「セカンダリDNSサーバ」も入力してください。



8.「適用」ボタンをクリックしてください。設定を保存して再起動するかどうか確認する画面が表示されるので「はい」ボタンをクリックしてください。



9.設定が保存され、本製品が再起動します。

3. 接続の確認

コンピュータ上でWEBブラウザを起動し、任意のURLを入力し、ページが表示されるか確認してください。表示されない場合は、プロバイダから指定されている設定をよく確認して、もう一度「簡単設定」をやり直してください。それでも接続できない場合は、「付録 A トラブルシューティング」を参照してください。

アドバンスド設定



ここでは、WEBブラウザを使用して本製品の詳細設定および各機能の設定を行う手順を説明します。

▲ 注意1

ここではWEBブラウザを使用した場合の操作方法を説明していますが、Telnetプログラムでも同様の設定を行うことが可能です。

▲ 注意2

設定変更後には、必ず画面左側のメニューから「保存して再起動」を実行してください。「保存して再起動」を実行せずに本製品の電源を切ったり、リセットした場合、新しい設定は消去されます。

1. 設定画面を開く

- 1.本製品のLAN側ネットワークに接続したコンピュータ上でWEBブラウザを起動してください。
- 2.WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のLAN側ポートのIPアドレス(デフォルトでは 192.168.10.10)を入力し[Enter]キーを押してください。
- 3.本製品にログインするためのユーザ名とパスワードを入力するダイアログが表示されるので入力してください。デフォルト設定では、ユーザ名は「admin」、パスワードは「password」です。

4. 本製品の設定画面が表示されます。画面左側のフレームに表示されているのが設定項目のメニューです。メニューの「アドバンスド設定」をクリックするとサブメニューが表示されます。



2. 管理者パスワードの設定

管理者パスワードの変更を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「LAN IP設定」をクリックしてください。



1. 管理者パスワードの「パスワード」と「パスワードの確認」の欄に新しいパスワードを入力し、「適用」ボタンをクリックしてください。パスワードの最大長は半角文字で8文字です。
2. ログインダイアログが表示されるので新しいパスワードを入力してログインしなおしてください。
3. 設定を保存して再起動するかどうか確認する画面が表示されるので、「はい」をクリックしてください。

3. LAN側TCP/IP設定

LAN側ポートのIP設定を変更するには、アドバンスド設定のサブメニューから「LAN IP設定」をクリックしてください。



「LAN側IPアドレス」

LAN側ポートに設定するIPアドレスを入力してください。

「LAN側サブネットマスク」

LAN側ポートに設定するサブネットマスクを入力してください。

「LAN側デフォルトゲートウェイ」

LAN側ネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。通常は本製品のLAN側IPアドレスを入力します。

「ホスト名」

プロバイダによっては、ユーザの認証にホスト名が必要になる場合があります。この場合は、ここにプロバイダから割当てられたホスト名を入力してください。その他の場合は、空白のままでもかまいません。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

4. WAN側TCP/IP設定

WAN側ポートのIP設定を変更するには、アドバンスド設定のサブメニューから「WAN IP設定」をクリックしてください。

本製品はWAN側ポートのサービスタイプとして、通常の接続とPPPoE(PPP over Ethernet)の2種類の方法をサポートしています。プロバイダ側がPPPoEに対応している場合は「サービスタイプ」に「PPPoE接続」を選択してください。それ以外の場合は「通常接続」を選択してください。サービスタイプを変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。



通常接続の設定

WAN側設定で「通常接続の設定」をクリックすると、通常接続の設定画面が表示されます。



「IP設定の自動取得」

WAN側ポートのIP設定をプロバイダ側のDHCPサーバから自動的に取得したい場合は「する」に設定してください。IPを手動設定する場合は「しない」に設定してください。「しない」に設定した場合は、以下の項目の設定を行ってください。

「WAN側IPアドレス」

WAN側ポートに設定する、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。

「WAN側サブネットマスク」

WAN側ポートに設定する、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。

「WAN側デフォルトゲートウェイ」

プロバイダから指定された、WAN側ネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

PPPoE接続の設定

WAN側設定で「PPPoE接続の設定」をクリックすると、PPPoE接続の設定画面が表示されます。



「ログインユーザ名」

ログインするためのログインユーザ名を入力してください。

「ログインパスワード」

ログインするためのパスワードを入力してください。

「サービス名」

任意のサービス名を入力してください。空白のままでもかまいません。

「サービスオンデマンド」

通常は「有効」に設定してください。

「自動切断」

無通信時のタイムアウトによる自動切断までの時間を分単位で入力してください。

「IPアドレスネゴシエーション」

IPアドレスを自動で割当てる場合は「有効」に設定してください。

「固定IPアドレス」

固定IPアドレスが割当てられている場合は入力してください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

5. DHCPサーバ機能の設定

本製品のDHCPサーバ機能の設定を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「ネットワーク」をクリックしてください。



「DHCPサーバ」

LAN側ポートのプライベートLAN上のコンピュータに対して、本製品のDHCPサーバ機能によってIP設定を自動的に割り当てる場合は、「有効」に設定してください。DHCPサーバ機能を使用しない場合は「無効」に設定してください。

「プライマリDNSサーバ」

DHCPサーバ機能により割当て、DNSサーバのIPアドレスを入力してください。WAN側のIP設定をプロバイダから自動取得している場合は、自動的に設定されます。

「セカンダリDNSサーバ」

DHCPサーバ機能により割当て、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力してください。WAN側のIP設定をプロバイダから自動取得している場合は、自動的に設定されます。

「WINSサーバ」

DHCPサーバ機能によってWINSサーバのIPアドレスを自動的に割当てたい場合は、WINSサーバのIPアドレスを入力してください。WINSを使用しない場合は、0.0.0.0を入力してください。

「IP割当て範囲」

DHCPサーバ機能によって、割当てられるIPアドレスの範囲が表示されます。範囲を追加したい場合は「範囲の追加」ボタンをクリックしてください。設定を変更または削除したい場合は、「変更」/「削除」ボタンをクリックしてください。

「固定IP割当て」

特定のコンピュータに対しての、固定IPアドレスの割当てを表示します。固定IPを追加したい場合は「固定IPの追加」ボタンをクリックしてください。設定を変更または削除したい場合は、「変更」/「削除」ボタンをクリックしてください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

注意

DHCPサーバ機能を「無効」に設定した場合は、プライベートLAN上のすべてのコンピュータのIPアドレスを手動で設定してください。

IP割当て範囲の追加/変更



追加または変更したいIP割当て範囲の「開始アドレス」と「終了アドレス」を入力して、「適用」ボタンをクリックしてください。開始/終了アドレスは「.」(ドット)で区切られた4つの数字のうちの、最後の1つだけを入力してください。

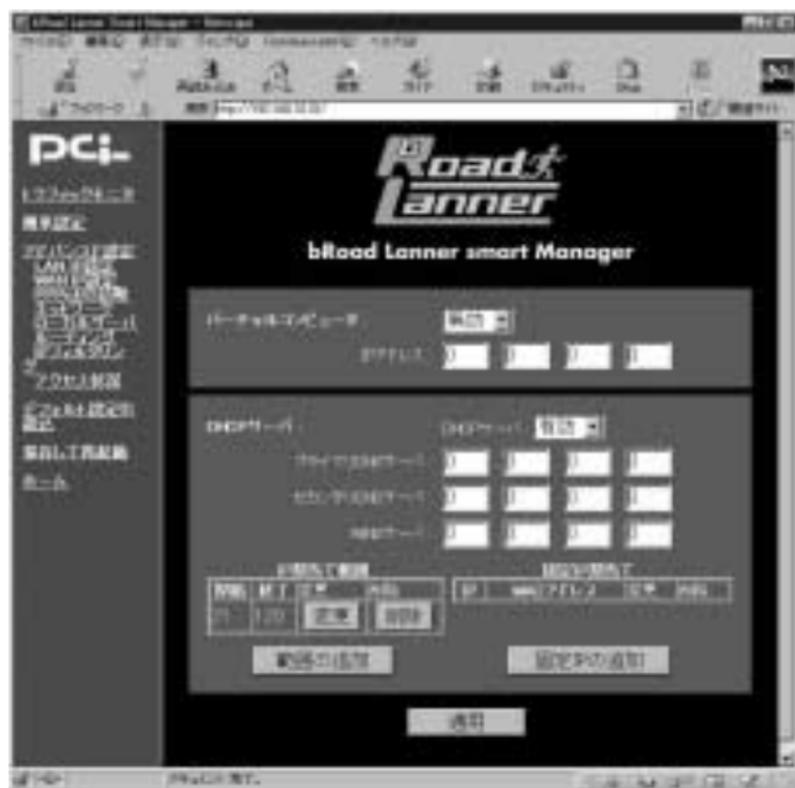
固定IP割当ての追加/変更



追加または変更したい固定IP割当ての「IP」と「MACアドレス」を入力して、「適用」ボタンをクリックしてください。IPは「.」（ドット）で区切られた4つの数字のうちの、最後の1つだけを入力してください。MACアドレスは、12桁の16進数で、2桁ずつ「:」（コロン）で区切って入力してください。

6. バーチャルコンピュータ機能

バーチャルコンピュータ機能とは、プライベートLAN上の特定のコンピュータをインターネット上から参照可能とする機能です。プライベートLAN上のいずれか1台のコンピュータをバーチャルコンピュータとして登録することが可能です。インターネットからの、本製品のWAN側ポートに割り当てられたIPアドレスへのパケットはすべてバーチャルコンピュータに転送されます。バーチャルコンピュータの設定を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「ネットワーク」をクリックしてください。



「バーチャルコンピュータ」

「有効」に設定すると、バーチャルコンピュータ機能が使用可能となります。「無効」に設定した場合、バーチャルコンピュータ機能は使用できません。

「IPアドレス」

バーチャルコンピュータに設定したい、プライベートLAN上のコンピュータのIPアドレスを入力してください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

7. ローカルサーバ機能

ローカルサーバ機能とは、プライベートLAN上にある特定のサーバを、インターネット上から参照可能とする機能です。ローカルサーバ機能では、バーチャルコンピュータ機能とは異なり、TCP/UDPのポート番号ごとにプライベートLAN上のコンピュータを割り当てることが可能です。たとえば、プライベートLAN上でFTPサービスを提供したい場合、FTPサービスのポート番号(TCPポート20/21)を、このFTPサーバのIPアドレスに割り当てます。すると、本製品のWAN側IPアドレスに対してFTP(TCPポート20/21)のアクセスが来ると自動的にプライベートLAN上のFTPサーバにパケットが転送されます。ローカルサーバの設定を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「ローカルサーバ」をクリックしてください。



設定されているローカルサーバのリストが表示されます。TCPプロトコルのエントリを追加したい場合は「TCPエントリの追加」ボタンを、UDPプロトコルのエントリを追加したい場合は「UDPエントリの追加」ボタンをそれぞれクリックしてください。



「プロトコル」

TCPまたはUDPが表示されます。

「外部ポート」

転送させたいパケットのポート番号を入力してください。例えば、WEBサーバであれば「80」を入力します。

「プライベートIPアドレス」

パケットを転送する、プライベートネットワーク上のコンピュータのIPアドレスを入力してください。

「内部ポート」

転送先のコンピュータでのポート番号を入力してください。通常は外部ポートと同じ番号を入力します。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

8. ルーティングテーブル

本製品では、ルーティングテーブルにルーティング情報を追加することが可能です。

⚠ 注意

新規にルーティング情報を定義するには、TCP/IPについてのより高度な知識が要求されます。間違ったルーティング情報を定義すると、IPネットワーク全体の通信が止まってしまう恐れもあります。ルーティング情報の定義を行う前に、ネットワーク管理者と相談し、追加するルーティング情報に問題が無いかよく確認してください。

ルーティング情報の定義を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「ルーティング」をクリックしてください。



現在定義されているルーティングテーブルが表示されます。新たにルーティング情報の定義を行いたい場合は「ルーティングテーブルの追加」ボタンをクリックしてください。

ルーティングテーブルの追加



「送信先」

送信先のIPアドレスを入力してください。

「ネットマスク」

送信先のネットマスクを入力してください。

「ゲートウェイ」

送信先アドレスへのゲートウェイのIPアドレスを入力してください。

「メトリック」

メトリックを入力してください。メトリックには0から16の値が設定可能です。送信先に対して複数の経路がある場合より低いメトリック値を持つ方の経路が優先されます。

「プライベート」

定義したルーティング情報（RIP）をブロードキャストさせたくない場合は、「はい」を選択してください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

9. IPフィルタリング

IPフィルタリング機能では、WEBの参照やE-mailなどのインターネットサービスの使用制限を行うことが可能です。また、特定のユーザのみこれらのサービスを使用できないように設定することも可能です。デフォルトでは、IPフィルタリング機能は無効に設定されています。IPフィルタリング機能の設定を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「IPフィルタリング」をクリックしてください。



現在設定されている、IPフィルタのリストが表示されます。代表的なサービスについては送信先ポートは番号ではなくサービス名で表示されます。IPフィルタの追加を行いたい場合は「IPフィルタの追加」ボタンをクリックしてください。IPフィルタリング機能を有効にしたい場合は「IPフィルタリング」を「有効」に設定してください。無効にしたい場合は「無効」に設定してください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

IPフィルタの追加

「IPフィルタの追加」ボタンをクリックすると、IPフィルタの追加画面が表示されます。



「プロトコル」

フィルタリングするパケットのプロトコルを「TCP」、「UDP」から選択してください。

「送信先ポート」

フィルタリングするパケットのポート番号を入力してください。

「送信元IP」

プライベートネットワーク内の特定のコンピュータのみフィルタリングしたい場合は、そのコンピュータのIPアドレスを入力してください。「0.0.0.0」を入力するとプライベートLAN上のすべてのコンピュータのアクセスがフィルタリングされます。

「適用」ボタンをクリックすると、フィルタが追加されます。

10. その他の設定

アドバンスド設定のサブメニューの「LAN IP設定」で、ネットワークアドレス変換(NAT)、マルチキャスト転送の設定を行うことが可能です。



ネットワークアドレス変換(NAT)機能

NAT機能の有効/無効を切り替えることが可能です。本製品をxDSL/ケーブルモデムを使用したインターネット接続に使用する場合は、必ず「する」に設定してください。

マルチキャスト転送

マルチキャスト転送の有効/無効を切り替えることが可能です。マルチキャスト転送を行いたい場合は、「する」に設定してください。

11. トラフィックモニタ

画面左のメニューから「トラフィックモニタ」をクリックすると、本製品のLAN側およびWAN側ポートそれぞれのIPアドレス、送受信したパケット数、エラーパケット数などの情報を確認できます。また、PPPoE接続の場合は接続時間が表示されます。トラフィックモニタの表示は、10秒ごとに更新されます。



12. アクセス状況の表示

画面左のメニューのアドバンスド設定のサブメニューから「アクセス状況」をクリックすると、プライベートLAN上のコンピュータのインターネットへのアクセス状況が表示されます。



13. デフォルト設定の読込

「デフォルト設定の読込」で、本製品の設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻すことが可能です。「デフォルト設定の読込」をクリックして表示される画面の「デフォルト設定の読込」ボタンをクリックするとデフォルト設定が読み込まれます。デフォルト設定を有効にするには、「保存して再起動」を実行してください。



14. 設定の保存

設定の変更は、設定を保存して本製品を再起動するまで有効にはなりません。本製品の設定を変更した後は、必ず「保存して再起動」を実行してください。

画面左側の「保存して再起動」をクリックして表示される画面で、「保存して再起動」ボタンをクリックすると設定が保存され本製品が再起動します。保存を中止したい場合は、「中止」をクリックしてください。



トラブルシューティング

POWER LEDが点灯しない

本製品付属のACアダプタを使用していますか？

ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？

ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

WAN LEDが点灯しない

ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

xDSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

LAN LEDが点灯しない

ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびハブのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？

ハブの電源は入っていますか？

ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

WEB設定画面が表示されない

コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか？
コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。

コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。
IPを自動取得(DHCPを使用)する設定にしてください。

インターネットにアクセスできない

WAN側のIP設定が間違っている可能性があります。プロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、「4-4 WAN側TCP/IP設定」をやり直してください。

IPフィルタが設定されていませんか？ IPフィルタの設定を確認してください。

インターネット(WAN)からのWEB設定を禁止したい

ローカルサーバ機能で、インターネット(WAN側)からの本製品のWEB設定画面へのアクセスを禁止することができます。プライベートLAN上でWEBサーバを公開する場合は、ローカルサーバの設定でポート80にWEBサーバのIPアドレスを割当ててください。プライベートLAN上でWEBサーバを公開しない場合は、プライベートLAN上で使用していないIPアドレスをポート80に割当ててください。

パスワードを忘れてしまった

本製品の管理者パスワードを忘れてしまい、設定画面にログインできなくなってしまった場合は、「付録C デフォルト設定の復帰」を参照し、本製品を工場出荷時の状態に戻してください。

MACアドレスがわからない

本製品のMACアドレスは本体底面のシールに印刷されています。
Node ID: の後の12桁の文字列が本製品のMACアドレスです。

ファームウェアのアップデート

本 製品はファームウェアをフラッシュROMに搭載しており、ファームウェアのアップデートが行われた場合に、簡単にアップデートが可能です。ファームウェアは、弊社ホームページ上 (<http://www.planex.co.jp/>) からダウンロードしてください。

▲ 注意

アップデートは、TFTPクライアントプログラムを使用して行います。Windows95/98からアップデートを行うには、TFTPクライアントプログラムが別途必要となります。また、アップデートに使用するコンピュータは、必ず本製品のプライベートLAN上に接続してください。ファームウェアのファイルをホームページからダウンロードしたら、以下の手順でアップデートを行ってください。

WindowsNT/2000でのアップデート

1. 本製品のプライベートLAN上に接続したコンピュータで、「スタート」メニューの「プログラム」から「コマンドプロンプト」を実行してください。
2. ダウンロードしたファームウェアのファイル(biggate.bin)を現在のディレクトリにコピーしてください。
3. コマンドプロンプトで以下のように入力してください。ファームウェアの転送が開始されます。

tftp 本製品のLAN側IPアドレス get upgrade

tftp -i 本製品のLAN側IPアドレス put biggate.bin

4. しばらくして、「Transfer Successful」というメッセージが表示されれば、アップデートは成功です。

UNIXでのアップデート

1. ルート (root) でログインしてください。
2. 現在のディレクトリにダウンロードしたファイル (bipgate.bin) をコピーしてください。
3. コマンドプロンプトから以下のコマンドを入力してください。
tftp 本製品のLAN側IPアドレス
4. TFTPプロンプトで以下のコマンドを入力してください。
get upgrade
binary
put bipgate.bin
5. しばらくして、ファイル転送が終了したらアップデートは完了です。
6. TFTPを終了してください。

デフォルト設定の復帰

本 製品のログインパスワードやIPアドレスを忘れてしまった場合や、不正なIPフィルタを追加してしまったなどの理由で、本製品のWEB設定画面にログインできなくなってしまった場合は、以下の手順で本製品を工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。

- 1.電源コードを外し本製品の電源を切ってください。
- 2.本体背面のリセットスイッチを押したままの状態、電源ケーブルを接続し電源を入れてください。
- 3.そのまま、リセットスイッチを10秒間押し続けてください。10秒たったらスイッチを離してください。この間に Status と書かれたLEDが7回点滅します。
- 4.リセットスイッチを約1秒間押してください。Status LEDが3回点滅します。このとき工場出荷時のデフォルト設定が読み込まれます。
- 5.続いて、本製品は自動的に再起動します。このとき、Status LEDが7回点滅します。

デフォルト設定

本 製品の工場出荷時のデフォルト設定は以下のようになっています。デフォルト設定の読みを行った場合も、以下の設定が読み込まれます。

項目	設定内容	
LAN側	IPアドレス	192.168.10.10
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.10.10
DHCPサーバ	DHCPサーバ	有効
	DHCP IP割当て範囲	21 ~ 120
	DHCP固定IP割当て	なし
	プライマリDNS	0.0.0.0
	セカンダリDNS	0.0.0.0
	WINSサーバ	0.0.0.0
WAN側	IPアドレス	1.1.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
	サービスタイプ	通常接続
	DHCPクライアント	有効
パスワード	password	
NAT	有効	
マルチキャスト転送	無効	
ローカルサーバ	なし	
バーチャルコンピュータ	なし	
ルーティングテーブル	なし	
IPフィルタリング	なし	

telnet設定

本 製品をtelnetを使用して設定する場合の設定メニューについて説明します。

0.General Information メニュー

- 1.Supervisor Password …… パスワードの変更
- 2.Local IP Address …… LAN側IPアドレス
- 3.Local Subnet Mask …… LAN側サブネットマスク
- 4.Default Gateway …… デフォルトゲートウェイ
- 5.Host Name …… ホスト名
- 6.Multicast Forwarding …… マルチキャスト転送

1.WAN Port Setupメニュー

- 1.Sevice Type …… WAN側サービスタイプの変更
- 2.Regular Service Setup …… 通常接続の設定
- 3.PPPoE Sevice Setup …… PPPoE接続の設定

2.DHCP Server Setupメニュー

- 1.Using DHCP Server …… DHCPサーバの有効/無効
- 2.Domain Name Server IP …… プライマリDNSのIPアドレス
- 3.Secondary DNS Server IP …… セカンダリDNSのIPアドレス
- 4.WINS IP …… WINSサーバのIPアドレス
- 5.Dynamic-IP Range Setup …… IP割当て範囲の設定
- 6.Fixed IP Table Setup …… 固定IP割当ての設定

3.Local Server Setupメニュー

ローカルサーバの設定

4. Internet Visual Computer Setupメニュー

- 1. WAN Port Visual Computer ……バーチャルコンピュータのIPアドレス
- 2. Using Visual Computer ……バーチャルコンピュータの有効/無効

5. Access Control List Setupメニュー

- A. Add a New Entry ……IPフィルタの追加
- D. Delete an Old Entry ……IPフィルタの削除
- U. Using Access Control List ……IPフィルタリングの有効/無効

6. Static Route Setupメニュー

- A. Add a New Entry ……ルーティング情報の追加
- D. Delete an Old Entry ……ルーティング情報の削除

7. Service Diagnosticメニュー

- C. Connect Service ……PPPoEの接続テスト
- D. Disconnect Service ……PPPoEの切断

8. Internet Spyメニュー

アクセス状況の表示

S. Save and Restartメニュー

保存して再起動

D. Load the default valueメニュー

デフォルト設定の読み込み

仕様

< 準拠する標準 >

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

< ポート >

LAN側：10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 STPポート

WAN側：10BASE-T RJ-45 STPポート

< 対応WAN回線速度 >

最大1.5Mbps

< LED >

Status、WAN LINK、LAN LINK、Power

< 入力電源 >

DC 6V、800mA

< 消費電力 >

最大5W

< 外形寸法 (W × D × H) >

169 × 115 × 35mm

< 重量(本体のみ) >

240g

< 環境 >

動作温度：0～40

動作湿度：35～85%

< EMI >

CE、FCC ClassA

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送またはホームページにて
ユーザー登録をおこなっていただいていない場合には、
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-3256-9207

受付時間

月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記wwwサーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL: info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

質問票

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

FAX : 03-3256-9207

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電話		F A X	
E-MAIL			

製品名	CATV/xDSL Internet Sharing Box
型番 Product No.	BRL-01
製造番号 Serial No.	

xDSL/ ケーブルモデム	メーカー	
	型番	

インターネット プロバイダ名	
-------------------	--

ご使用の パソコンについて	メーカー	
	型番	
	OS	バージョン

保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後1ヵ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1ヵ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承ください。なお、弊社はセンドバック方式をとらせていただいております。故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送していただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

- 1.ユーザー登録を行っていない場合
- 2.購入日が明記されていない場合
- 3.取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
- 4.お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
- 5.火災、天災、地変、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。

保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

免責事項

火災、自身、第三者による行為、事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異状と思われる条件での使用により発生した損害に関して弊社は一切責任を負いません。ユーザーズマニュアルの記載事項を守らないことにより生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。

本製品の使用または、使用不能から生じて付随した損害(事業の中断、事業利益の損失、記憶内容の変化、消失等)に関して一切責任を負いません。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

<http://www.planex.co.jp/>

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要はありません。

ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考にしてください。

“製造番号”には、パッケージ側面に貼られているバーコードシールの“S/N”または商品裏側に記されている内容をご記入ください。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

グリーンマークについて



本製品は、グリーンマーク事業に協賛し、パッケージに再生紙を利用しています。グリーンマーク事業とは、紙のリサイクルを推進することを目的とした事業ですが、併せて環境の緑化も目的としています。パッケージ裏面にあるグリーンマークを、学校あるいは町内会、自治体単位で集め、財団法人古紙再生促進センターに送っていただくと、苗木、またはセンターオリジナルのノートが送られます。詳しくは、財団法人古紙再生促進センター（電話 03-3541-9171）までお問い合わせ下さい。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間
製品名	CATV/xDSL Internet Sharing Box
型番 Product No.	BRL-01
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 府 道 県
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

郵便はがき

お手数ですが
切手を貼り
ポストに
ご投函下さい。

101-0041

東京都千代田区神田須田町1-7
ウイン神田高橋ビル5F

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワークOS	
使用OS	
使用機種	

BRL-01 マニュアル訂正文

PCI製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ファームウェアのアップデートにともない、付属のマニュアル
に下記の訂正がございます。

●19、25ページ

LAN側ポートのデフォルトIPアドレスが「192.168.10.10」とな
ておりますが、正しくは「192.168.1.1」となります。

●50ページ その他の設定

(追加) RIP:RIPの有効/無効を設定します。

●63ページ デフォルト設定

LAN側IPアドレス

(誤) 192.168.10.10

(正) 192.168.1.1

LAN側デフォルトゲートウェイ

(誤) 192.168.10.10

(正) 192.168.1.1

ローカルサーバ

(誤) なし

(正) ポート80/192.168.1.254

ポート23/192.168.1.254

今後ともPCI製品をご愛顧いただけますよう、重ねて
お願い申し上げます。



BRL-01/BRL-01N/BRL-04 ファームウェアバージョン5.XX.62p 補足マニュアル

BROADBAND ROUTER

本製品のファームウェアバージョン5.XX.62pより、新機能が追加されました。このマニュアルは付属マニュアルに記載されていない事項について説明いたします。5.XX.62pへファームウェアをバージョンアップされた場合は、本製品付属マニュアルとあわせて本補足マニュアルを参照してください。

本製品を安全にお使いいただくために

警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



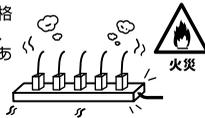
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



液体・異物はいれないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所

雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードをつけて移動しないで！

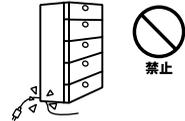
本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。



目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	
1. はじめに	4
2. PPPoE接続時の切断手順について	4
3. WWW 設定画面へのアクセス	4
2. 簡易インターネット接続設定	
1. 簡単インターネット設定	5
2. 通常のPPPoE接続	6
3. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス	9
4. PPPoE複数IPアドレス LAN型接続	11

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

1 はじめに

1. はじめに

本製品はWWWブラウザ経由およびTELNET経由の2つの設定方法があります。このマニュアルではファームウェアバージョン5.XX.62pで追加及び変更されたWWWブラウザ経由の設定方法を説明しています。5.XX.62p 以前のファームウェアをご利用の場合には、製品付属のマニュアルを参照してください。

2. PPPoE接続時の切断手順について

PPPoE 接続した場合、WWW 設定画面の切断手順を踏まずに、ケーブルの取り外しや電源断などを行うとPPPoEセッションがサーバ側に残った状態になります。この状態に陥ると10～20分再接続できなくなりますのでご注意ください。その場合は時間を置いてから再接続をしてください。

3. WWW設定画面へのアクセス

WWW 設定画面へのアクセス方法は、本製品付属マニュアルを参照してください。

2 簡易インターネット接続設定

ファームウェアバージョン5.XX.62pから基本的な設定のみでインターネットに接続する方法を追加しました。ここでは必要最小限の設定でインターネットに接続する方法について説明します。ご利用のインターネット接続サービスに対応した説明を参照に設定してください。

1. 簡単インターネット設定

1. WWWブラウザで設定画面を開きます。

2. [メインメニュー] またはWWWブラウザの画面左側から、[簡単インターネット接続設定]の文字をクリックします。

→ [簡単インターネット接続設定] ページが表示されます。



3. ご利用のインターネット接続サービスのタイプを選択します。

メインメニューに3つの選択肢が表示されます。ご利用のインターネット接続サービスを選択してください。

通常のPPPoE接続

NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「Single」サービス、名古屋めたりっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインターネット接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。

2. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)
[簡単インターネット設定] - [通常のPPPoE接続]

ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。以下のPPPoE サービス名が指定されていない場合は "@" (アットマーク) 以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例 : nogunogu@planexbrl.ne.jp

注意

最大64 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても "*" (アスタリスク) 表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例 : rYOC0%Mtu

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoEサービス名を、正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例 : PPPServ

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

パソコン上でWWWブラウザを起動した場合など、LAN側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンス設定] - [PPPoE接続の診断] ページで手動接続しなければなりません。

自動切断

PPPoEでインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的にPPPoE接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。自動切断したくない場合は、この欄に"0"を入力してください。(工場出荷時の状態では「5」に設定されています。)

例: 3

IPアドレスネゴシエーション

IPアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IPアドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「ルータIPアドレス」も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

ルータIPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Maximum Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1414)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

例: 株式会社セガのDreamcastで『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。当社では1400、1300、1200の各値で動作確認を行っています。

注意

株式会社セガのDreamcastで『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。当社では1400、1300、1200の各値で動作確認を行っています。

3. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)
再起動後にインターネットに接続できます。

3. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス

[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]では、通常のADSL/CATVインターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。

▲ 注意

PPPoE 接続ADSLインターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続]から設定を行ってください。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. メインメニューから、[簡単インターネット接続設定]ページ - [CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]を選択します。

[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[簡単インターネット設定] - [CATVインターネットサービス、その他のADSL
接続サービス]

IP設定の自動取得(DHCP取得)

プロバイダからIPアドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」、IPアドレスが固定で割り当てられる場合は「しない」を選択します。「しない」の場合は以下の項目に関しても設定してください。(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

WAN 側IPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例 : 153.16.10.40

WAN 側サブネットマスク

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例 : 255.255.255.240

WAN 側デフォルトゲートウェイ

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例 : 153.16.10.36

ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。

ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、LAN上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIPアドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。

プロバイダからドメインを指定されている場合は、プロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例 : PLANEX

ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。(工場出荷時の状態では「br101」に設定されています。)

例 : Mymachine

4. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。
「設定を保存して再起動します」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

4. PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

[PPPoE複数IPアドレス LAN型接続]では、PPPoEを使ったインターネット接続サービスで、複数の固定グローバルIPアドレスが利用可能なサービスをご利用の場合の設定を行います。

注意

PPPoE ではないADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]から設定を行ってください。また、IPアドレスが1個しか割り当てられない通常のPPPoE採用インターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続]から設定を行ってください。

複数グローバル IP アドレスサービスの利点

通常のPPPoEインターネット接続サービスではIPアドレスが1個しか割り当てられません。また、PPPoEでプロバイダに接続した際に空いているIPアドレスが割り当てられますので、接続するごとに毎回違うIPアドレスが割り当てられます。これに対し、グローバルIPアドレスが固定的に割り当てられていると、常に同じグローバルIPアドレスでインターネットからアクセスできますので、サーバ公開には必須のサービスです。

PPPoE 複数グローバル IP アドレス接続サービスについて

本製品はファームウェアバージョン5.XX.62p より、「PPPoE複数IPアドレス LAN型接続」に対応しています。

本マニュアルでは、PPPoE 採用ADSL インターネット接続で複数のIP アドレスを提供するサービスを、「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続サービス」としております。その他のサービスでは機能しない場合がありますのでご注意ください。

「PPPoE 複数グローバルIP アドレスLAN 型接続サービス」はWWW 設定画面のみで設定可能です。TELNET 設定画面では設定できませんのでご注意ください。

IPアドレスの割り当て方法

プロバイダから複数のグローバルIPアドレスが割り当てられる場合、割り当てられる連続したグローバルIPアドレス空間のうち、最初(ネットワークアドレス)と最後(ブロードキャストアドレス)は、システムで予約されておりホスト(コンピュータ)には使用できません。また、本製品のようなルータに対するIPアドレスも必要になります。従って、お客様のホスト(コンピュータサーバ)で利用可能なIPアドレスは、(プロバイダから割り当てられたアドレス数 - 3)になります。(プロバイダから8個のグローバルIPアドレスが割り当てられている場合は5個が利用可能)

例：プロバイダから153.16.10.40 ~ 153.16.10.47 までのグローバルIPアドレスが割り当てられた場合

- 153.16.10.40・・・ネットワークアドレス(使用不可)
- 153.16.10.41・・・ルータ用(例：本製品LAN側ポート)
- 153.16.10.42・・・お客様ホスト用(例：プライマリDNSサーバ)
- 153.16.10.43・・・お客様ホスト用(例：WWWサーバ)
- 153.16.10.44・・・お客様ホスト用(例：メールサーバ)
- 153.16.10.45・・・お客様ホスト用(例：FTPサーバ)
- 153.16.10.46・・・お客様ホスト用(例：その他サーバ)
- 153.16.10.47・・・ブロードキャストアドレス(使用不可)

注意

一般的にルータ(本製品LAN側)に設定するグローバルIPアドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

本製品の機能

本製品の「PPPoE複数IPアドレス LAN型接続」機能を利用すると、プロバイダから割り当てられた複数のグローバルIPアドレスを持つパソコンを、本製品のLAN側ポートに接続可能になります。さらに、プライベートIPアドレスを持つホスト(パソコン)も接続することができます。

この際、本製品のLAN側ポートはグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスをそれぞれ1個、合計2つのIPアドレスを保持します。また、WAN側ポートにはIPアドレスは割り当てられておらず、Unnumbered となります。

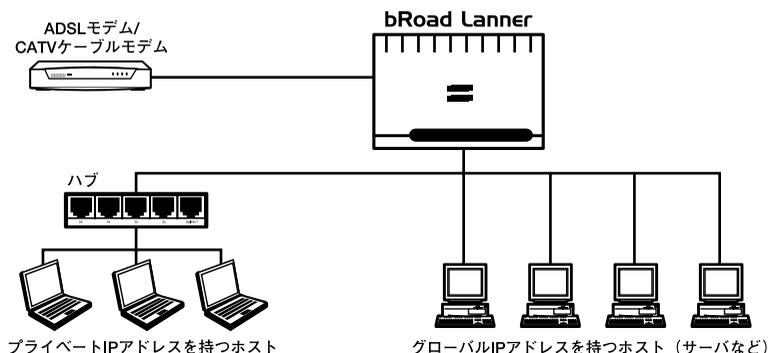


図1-1 PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

グローバルIPアドレスネットワーク					
区分	ネットワークアドレス	デフォルトゲートウェイ	各ホストのアドレス	ブロードキャストアドレス	サブネットマスク
IPアドレス	割り当てられたIPアドレス範囲の最初のグローバルIPアドレス	割り当てられたIPアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレス	ユーザ使用可能なグローバルIPアドレス	割り当てられたIPアドレス範囲の最後のグローバルIPアドレス	プロバイダから指定されたサブネットマスク
例: 53.16.10.40~ 153.16.10.45 の6個のグローバルIPアドレスが割り当てられている場合	153.16.10.40	153.16.10.41	153.16.10.42~ 153.16.10.44	153.16.10.45	255.255.255.240

表3-1 グローバルIPアドレス

注意

一般的にルータ(本製品LAN側ポート)に設定するグローバルIPアドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

プライベートIPアドレスネットワーク					
区分	ネットワーク アドレス	デフォルト ゲートウェイ	各ホストの アドレス	ブロードキャスト アドレス	サブネットマスク
IPアドレス	任意のネットワー クアドレス	任意のデフォ ルトゲートウェイ	任意	任意のブロード キャストアドレス	任意のサブネッ トマスク
例: 19.168.1.0/24プ ライベートアドレ ス空間を使用する 場合	192.168.1.0	192.168.1.1	192.168.1.2~ 192.168.1.254	192.168.1.255	255.255.255.0

表3-2 プライベートIPアドレス

ホスト（コンピュータ・サーバ）の設定

本製品の複数グローバルIPアドレスLAN型接続機能（NAT & スルー）を利用する場合、LAN 側ポートに接続したホスト（パソコン・サーバ）のネットワーク設定は次のようになります。

グローバルIPアドレスのコンピュータ

<IPアドレス>

プロバイダから割り当てられたIPアドレス空間のうち、利用可能なグローバルIPアドレス（本製品LAN 側ポートに設定するルータアドレスを除く）

例：153.16.10.41

<サブネットマスク>

プロバイダから指定されたサブネットマスク

例：255.255.255.240

<デフォルトゲートウェイ>

割り当てられたIPアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレス（＝本製品LAN 側ポートに設定したグローバルIP アドレス）

例：153.16.10.41

プライベートIP アドレスのコンピュータ(本製品のDHCP サーバ機能を利用しない場合)

<IPアドレス>

任意のIP アドレス

例: 192.168.1.1

<サブネットマスク>

任意のサブネットマスク

例: 255.255.255.0

<デフォルトゲートウェイ>

本製品LAN 側ポートに設定したプライベートIP アドレス

例: 192.168.1.1

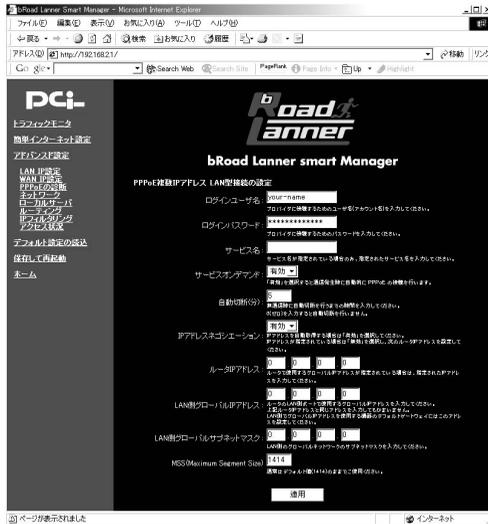
プライベートIP アドレスのコンピュータ(本製品のDHCP サーバ機能を利用する場合)

各パソコンのDHCPクライアント機能を有効(IPアドレスを自動的に取得する)
にするだけで設定完了です。

本製品の「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続」の設定方法

1. WWWブラウザで設定画面を開きます。
2. メインメニューから、[簡単インターネット接続設定]ページ - [PPPoE複数IPアドレスLAN型接続]を選択します。

[PPPoE複数IPアドレスLAN型接続]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)
[簡単インターネット接続設定]ページ - [PPPoE複数IPアドレスLAN型接続]

ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE接続ユーザ名を、正確に入力してください。以下のPPPoEサービス名が指定されていない場合は「@」(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例：nogunogu@planexbrl.ne.jp

注意

最大64文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても「*」(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例：rYOC0%Mtu

注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoEサービス名を、正確に入力してください。とくに指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：PPPServ

注意

最大32文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

コンピュータ上でWWWブラウザを起動した場合など、LAN側のコンピュータからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続させる場合は、「有効」に設定してください。「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続」の場合は、「有効」に設定することをお勧めします。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定] [PPPoEの診断] ページで手動接続しなければなりません。

自動切断(分)

PPPoEでインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的にPPPoE接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。自動切断したくない場合は、この欄に「0」を入力してください。複数グローバルIPアドレスLAN型サービスの場合は、「0」を入力して自動切断しないことを推奨します。（工場出荷時の状態では「5」に設定されています。）

例：0

IPアドレスネゴシエーション

プロバイダからルータのアドレスを指定されている場合は「無効」、指定されていない場合は「有効」を入力してください。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

ルータIPアドレス

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合はそのアドレス、指定されていない場合は「0.0.0.0」を入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.41

LAN側グローバルIPアドレス

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合はそのアドレス、指定されていない場合は割り当てられたアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレスを入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.41

LAN側グローバルサブネットマスク

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 255.255.255.240

MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Maximum Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1414)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

例: 株式会社セガのDreamcastで『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。1400、1300、1200の各値で動作確認を行っていますので、このなかでできる限り大きい数値を設定してください。

注意

MSS値はインターネット接続スピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合でMSS値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください。
(1414以上は指定しないで下さい)

4. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

<http://www.planex.co.jp/>